

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キノコにじいろクラブ		公表日		2025年 3月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 ・ 運 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		スライドを用いて、先生方に説明したり、教 具アイテムを紹介しています。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		最近の利用希望が多いため、専門スタッフが もう1～2名いると良い。	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	○		記録での共有だけでなく、毎週1回ケース報 告の場を作って支援の振り返りと計画を立て ています。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設 けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表は今回が初めてでしたが、面談等で定 期的に意向を確認しています。	今回のご意見を反映していきたい。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改 善につなげているか。	○		前述のケース報告にて週1回意見交換してい ます。	今後はさらに回数を増やしていきたい。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	○				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等 で研修を開催する機会が確保されているか。	○		訪問支援には専門性が必須のため、あらゆる 形式の研修を定期的に行っています。	ICTを活用した研修も準備中。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計 画を作成しているか。	○				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任 者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こ どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等 と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		現場のニーズを最優先に支援方法や内容も柔 軟に対応できるように努めています。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が 行われているか。	○				
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマ ルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	専門スタッフの経験と知識を元に評価や見立 てを行っているため、インフォーマルなアセ スメントが主になっています。	新しいアセスメントツールを検討。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの 「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支 援内容が設定されているか。	○		訪問に入るスタッフは必ずガイドラインを読 み込んで支援に入っています。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が 行われているか。	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援 の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っ ているか。		○	打ち合わせは振り返り時にまとめていること が多いです。	今後はチームでの連携をさらに強めたい。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支 援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○				
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重 して支援を行っているか。	○		特に初期介入では訪問先のニーズを把握し、 対応することに重きを置いています。			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改 善に繋げているか。	○					

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		毎回参加できるようにしています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		進学前は特に意識して情報共有を行っています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		毎回参加できるようにしています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		LINEなどを用いて情報共有を行っています。	今後はICTシステムを活用していく。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		6ヶ月に1度の面談を行い助言を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会や兄弟も参加可能なイベントを設定しています。	情報が行き渡るようにICTシステムを活用。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れがあればすぐに対応するようにしています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		出来るだけ早く連絡を取り、訪問先に足を運ぶようにしています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		通所利用の際や、送迎時に共有をしています。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		多機能事業所のため、一体的に作成しています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			